

第5回

東大和市社会教育委員会議 会議録

令和2年9月15日（火）

令和2年第5回 東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和2年9月15日（火）午前10時～午前11時30分
- 2 場 所： 市役所会議棟第5会議室
- 3 出席委員： 荒川進、大月孝彦、外池武嗣、杉本誠一、柳澤明、森脇千春、村山和子
（7人）

欠席委員： 和田孝、藤井嘉也（2人）
- 4 事務局： 眞中係長、萩原主任（2人）
- 5 内 容：
（1）議題
①都市社連協第2ブロック研修会について
②全国社会教育研究大会新潟大会の通知について
③その他
・令和2年度都市社連協第3回役員会・第3回拡大役員会の開催について
- 6 公開・非公開： 公開
- 7 傍聴者数： 0人

○荒川議長 おはようございます。ただ今より、「令和2年度第5回東大和市社会教育委員会議」を開催いたします。よろしくお願ひします。お手元の資料の確認をさせていただきます。事務局お願ひします。

○萩原主任 はい。それではお手元の資料を確認させていただきます。次第にお示ししたとおり、会議資料は10点お配りしております。配布資料は今回、平和文集を追加させていただいて、全部で8点となっております。もし資料に不足等がありましたら、お申し出ください。資料の確認は以上になります。

議題①都市社連協第2ブロック研修会について

○荒川議長 よろしいでしょうか。それでは、これから議題に沿って進めたいと思います。議題①都市社連協第2ブロック研修会についてです。研修会については、前回他ブロックの実施の可否はわかりませんが、当市では可能であれば実施したいということで、進めてきました。この時期ですから、大きな研修会は無理だと思いますが、ブロックという小さな地域ですので、参加者を制限する形で開催通知を出しました。よって、今回は開催するという方向で、資料に沿って確認をしていきたいと思います。資料の4枚目の大きな流れ、第2ブロック研修会日程という資料があります。細かいタイムスケジュールは、その後ろについていますので、何か気付くことがあれば、出してもらいたいと思います。

○柳澤委員 第3部のところで、資料では、発表者を決めることになっていますが、この日程では40分しか時間がなさそうですが、大丈夫ですか。

○荒川議長 柳澤さんから意見が出されたのは、グループ討議を行う15時40分から16時20分の間の時間で、グループの発表者を決める時間があるかということですが、この発表は、グループではこのような話し合いがされましたという発表です。第1グループでは柳澤さんが仕切っていく、話し合いの内容や参考になったことなどを、グループ内のどなたか発表してくださいということです。だから何か提案してくださいという意味ではありません。

○柳澤委員 そうすると終わりの時間が16時20分になっていますから、例えば16時10分までにグループでの意見交換を終えるというのはどうでしょうか。

○荒川議長 16時20分までの中で発表までを行うということですね。

○柳澤委員 では、意見交換会は少し前に終わらなければいけないということですね。

○荒川議長 16時10分くらいになったら、「今日話し合ったことを、皆さんの前で発表してください」と促すということでよろしいかと思います。

上から再度確認していきたいと思います。12時30分、皆さん集合してください。13時、受付開始。13時30分から、開会挨拶。司会は外池先生、私が2分ほど挨拶、担当副会長の谷部先生からもご挨拶、教育長からもご挨拶をいただきます。特に問題ないでしょうか。13時40分から東大和市の紹介を大月副議長にお願いします。

○大月副議長 私はプロジェクター使って「東大和どっとネット」会議で作った、東大和の50周年記念という映像データを映して説明することを考えています。

○荒川議長 ナレーションはなく、大月さんの生の声で行うということでしょうか。

○大月副議長 調整します。

○荒川議長 その次ですが、13時50分、本市の活動報告、これは後ほど説明します。休憩したあと、高井先生の講演となり、内容は先生にお任せしています。そのあと、15時40分からグループ討議ということで、柳澤さん、森脇さん、杉本さんにそれぞれグループの仕切りをお願いして、意見交換の内容、自己紹介、講演を受けて思うことや感じることを、各市の提言の現状や課題を相互に交換しながら勉強していただければと思います。そして、16時10分になったら、第1グループから順番に、それぞれのグ

ループでどのようなことを話し合いされましたと、相互に聞きあつて確認していただくことになりますので、3グループ分の時間が必要になってきます。1つのグループが5分話すと15分くらいかかりそうですが、それは様子を見ながら、進めていただきたいと思います。

○森脇委員 内容のことではなく、グループで座る席の様子なのですが、机を6個並べる形でよろしいでしょうか。部屋の広さもあると思うのですが、少し密な気がします。6個ということは、ここに真ん中の机が1つ入って、4人4人、2人2人という並びになります。そうすると、この対面が近すぎるような気がします。もし可能であれば、何かビニールを貼るなり、そういう対策が必要かなと感じました。

○荒川議長 第6から第8の3つの会議室をつなげて使いますので、広いはずです。

○森脇委員 どのくらいの間隔でしょうか。

○眞中係長 間隔は、今より少し広くなります。

○荒川議長 これを少し広くした感じで1グループ、それが3つできますね。

○柳澤委員 この全体の会議場と、グループ討議の会場は別々にあるのですか。

○眞中係長 いえ、同じ会場ですので、組み直しをしないとできません。

○柳澤委員 グループ討議が終わって、最後にまた組み直しをしなければいけないのですか。

○眞中係長 最後は、例えばグループ討議のまま挨拶という形になるかと思います。

○荒川議長 そのままでいいと思います。

○眞中係長 皆さんにご協力をいただいて、グループ討議の開始前に机を並び替えて、そこからは最後までその形でお願ひしたいと思います。

○荒川議長 それでいかがでしょうか。

○柳澤委員 そうすると、ここの第2部と第3部の間は、少し時間が必要ですね。

○荒川議長 グループ討議が終わるのが16時20分、その後次期幹事市である武蔵村山市の齊藤さんと私がお礼を言います。そして、閉会になります。次のページの事務の流れは事務局で行っていただくことで良いでしょう。準備品リスト、自分が関わりそうなところで何か必要なものがありましたら、事務局に用意していただきたいと思います。

○杉本委員 出席者の方の座席表は作られるのですか。

○眞中係長 名札は用意させていただきます。座席表もご用意します。

○荒川議長 特になければ、先に進みます。進行案は、目を通していただきたいと思います。

○外池委員 ひとつよろしいですか。

○荒川議長 はいどうぞ。

○外池委員 高井先生の講演が終わったあと、質問の時間はあるのでしょうか。

○荒川議長 講演というのは、原則、講演者が話すだけで質問というのはありません。

○外池委員 私もそういうように受け止めていました。次のグループ討議で講演のことが話し合える機会がありますので、そこでお話してくださいと案内したほうがいいです。

○荒川議長 そのほうが良いと思います。高井先生はいつまでいらっしゃるのですか。

○眞中係長 最後まで居ていただけるとは思いますが、確認します。グループ討議中は各グループを回っていただけるかなども確認します。

○荒川議長 どうしてもご本人に話したい場合は、直接お話しくださいということにしましょう。

○外池委員 ではそのように進めます。

○荒川議長 ここまでのところは良いですか。では、先程後に回した本市の活動報告について進めます。

今回提案するテーマですが、はじめに、本市社会教育委員会議活動の概要ということで、諮問や普段の

様子などをお話しします。その中で、隔年ごとに提言をしていることとお話いたします。2番目に、社会教育委員会議の役割と提言のとらえ方で、社会教育委員会議の役割というのをどのように考えているかというのを、お話ししたいと思います。要するに、市全体を見回して、社会教育として取り組むべきものは何か、改善すべきものは何かということを常に考えることが社会教育委員会議の役割でありましょう。個別具体的な事業を社会教育委員会議の人が行うことは、一向に差し支えないし、良いことですが、それが目的ではないということです。次に提言の歴史をお話しします。これは資料にあるとおり、ほぼ隔年で提言を行っている歴史を述べていきたいと思っています。3番目に、提言とその成果、進捗状況について、皆さん方から出されたものを全部集約してお話いたします。

これを発表して、一番最後にまとめになります。まとめは6項目あります。1つ目ではありますが、どの市でも、社会教育関連団体に関する補助金の交付の諮問というのは出されていますし、そのほか特別なことがあれば、諮問を受けている市もあります。ですから、何も活動がないということはありません。ただし、例年どおりの予算配分の諮問だけで終わってしまっているのも、問題があるのではないのでしょうかというのが、含みにあります。我々は、それ以外に社会教育的な視野から市政全般を見まわしています。そのような姿勢を持ちつつ、社会教育の課題を積極的に探って提言をしています。2つ目ではありますが、課題の大小にもよりますが、提言の趣旨をわかりやすく説得力を持たせるということは必要になります。小さなことを積み重ねる方法もあると思いますが、社会教育全体を俯瞰して、提言するというところをお話しします。そして3つ目に、提言ですから、教育委員会に提出するわけですが、教育委員さんや市長部局、議会、関連機関等に広く配布していることを話そうと思います。4つ目は、提言の実現状況についてです。懇談会の機会を持ちたいと思っていますが、まだできていません。研修会を通して、懇談会は実施した方がいいのではないかという意見があれば取り入れたいと思います。高井先生にも講演の中で触れていただきたいという願いはしてあります。5つ目は、社会教育の社会分野が教育委員会とは限らなくなっているということです。市長部局でも社会教育的な事業を行っていますから、教育委員会管轄の事業だけでなく、市政全体での成果を日常的に観察評価するということが大事です。いろいろな文化事業含めて、どこがどのような事業をされているか、日常的に観察して、提言が参考になればいいと思っています。6つ目は、そのような意味を踏まえて、市当局や市民に提言の中の訴えを感じてもらい、自発的に取り組んだほうがいいと思ってもらえることを期待することが大事なのです。そのような位置付けで、提言を時々振り返って評価していくことを、各市で参考にさせていただければありがたいと思います。

○荒川議長 新潟大会からの通知について、事務局お願いします。

議題②全国社会教育研究大会新潟大会の通知について

○萩原主任 新潟大会につきましては、通知をご覧ください。現地での参加は新潟県内の方を参加対象としますので、東京都の社会教育委員は、大会後、新潟県のホームページ等で動画をご覧くださいという参加方法になるそうです。大会冊子については、来年度の実行委員のメンバーに配布できる程度しか残らないので、もし見たい場合はこれも新潟県のホームページに掲載されていますので、データをご覧くださいということでした、以上です。

○荒川議長 参加はなし、ということです。その他事務局からお願いします。

議題③その他

○萩原主任 令和2年度の都市社連協第3回役員会・第3回拡大役員会の開催についてですが、通知をご覧ください。本来10月20日火曜日に実施予定でありました会議について、交流大会の中止を早めに決定するために、日付が9月24日の金曜日に繰り上げて開催することになりました。当初、荒川議長と事務局が参加できる予定で調整していたのですが、参加ができなくなりましたので、欠席ということで、回答しました。交流会の中止については、幹事市の決定に従う旨を伝えております。そのため10月20日ですけれども、当初、定例会を午前9時半と調整させていただいていたのですが、役員会がなくなりましたので、通常通り午前10時から開催させていただきます。お間違えがないようご出席お願いしますということでした、以上です。

○荒川議長 ありがとうございます、大きい集会はしばらくできませんね。それでは皆様のほうから、議題に関わらず何かありましたらお願いします。

○萩原主任 配布資料の補足説明をさせていただきます。毎年社会教育課の各課記録というものを出力しております、緑色の冊子になります。社会教育課の事業と公民館事業と図書館事業の3冊あり、去年どのような事業を社会教育部で行ったかが記録されています。ピンク色の冊子が、令和2年度の学びあいガイドになりまして、生涯学習活動をやっている団体のリストや、人材バンク等、社会教育課で市民の皆様にご提案している生涯学習の案内を載せており、市内の各公民館、市民センターに配布いたしました。その他東大和市のこうみんかんだよりの246号、とうきょうの地域教育の冊子、吉岡堅二没後30年展の「堅二と華堂」というチラシをお配りさせていただきました。「堅二と華堂」は9月26日から開催いたしますので、お時間ありましたら、是非見に来てください。最後に、令和2年の平和文集が出来上がり、8月16日から発行しておりますが、本日配布させていただきました。本年度は3人の戦争体験者の方と、残りは小中学生の作文になっております。一人92歳の戦時中に17歳か18歳ぐらいの方の戦争体験記がありまして、その方が一番高齢の方です。こちらもよろしかったらお読みください、以上です。

○荒川議長 ほかに何かありますか。無ければ副議長からまとめのご挨拶をお願いします。

○大月副議長 来月4日日曜日、都市社連協の第2ブロックの研修会、タイムスケジュールと詳細がきちんと決まりました。集合が12時半です。当日は時間遅れないようにお願いします。またコロナウイルスも含めて、健康に留意してこれに参加していただきたいと思います。一人でも欠けるといろいろスタッフが大変になってきますので、健康には十分気を付けて参加していただきたいと思います、以上です。

○荒川議長 次回、10月20日午前10時からです。以上をもちまして終わります、ありがとうございます。